

Hotels.com、「泊ってみたい映画の中のホテル」を発表！

映画『THE 有頂天ホテル』が第1位！『プリティ・ウーマン』は女性から圧倒的支持！

ホテルズドットコム ジャパン

オンラインホテル予約サイト世界最大手の Hotels.com(本社:英国、CEO:デイビット ロシエ)は、全国の20歳から69歳までの男女500名を対象に、宿泊に関する意識調査を実施しましたので、結果をご報告します。本調査は20代から60代まで男女をそれぞれ50名ずつ、合計500名を対象にインターネットによるアンケート形式で実施したものです。

人々を感動させるラブストーリー映画やドキドキした緊張感が味わえるアクション映画まで、さまざまなジャンルの映画の中でホテルが登場します。映画に登場したホテルが観光スポットとなり、多くの観光客が訪れ、記念撮影をすることも珍しいことではありません。そこで今回、映画の中に登場したホテルで泊まりたいところについて調査いたしました。

第1位は2006年に公開された三谷幸喜監督の『THE 有頂天ホテル』が選ばれました。本作に登場するホテルは実際には存在していない架空のホテルですが、「楽しそうだから」「面白いスタッフがたくさんいてワクワクできそうだから」など映画の雰囲気そのまま選んだ理由に繋がったようです。男女別のランキングでも、ともに第1位を獲得しており、圧倒的な人気があることが分かりました。

次いで第2位となったのは、ジョージ・クルーニーやブラッド・ピットなど豪華俳優たちが共演した『オーシャンズ11』でした。映画の舞台として登場したのがラスベガスにあるベラージオで、ゴージャスなカジノや広大に広がる湖と噴水ショーなどが印象的に映し出されていました。「かっこいい」「ゴージャスだから」といった理由が多く、比較的男性から強く支持されていました。第3位には現在でも続く人気シリーズで、日本を舞台にした『007 は二度死ぬ』がランクインしました。本作では、ホテルニューオータニが007の敵企業の本社として登場しています。50代、60代の男性から圧倒的な支持を獲得していました。

第4位には、人気テレビドラマの映画版『花より男子ファイナル』がランクインしました。部屋の外にプールがついているゴージャスな部屋として登場したのが香港のインターコンチネンタル香港でした。女性からの支持が強く、特に20代、30代からは多くの票が寄せられました。

【表1】泊ってみたい映画の中のホテル(総合)

順位	映画／登場したホテル
1	THE 有頂天ホテル／架空のホテル
2	オーシャンズ11／ベラージオ
3	007 は二度死ぬ／ホテルニューオータニ
4	花より男子ファイナル ／インターコンチネンタル香港
5	プリティ・ウーマン ／ビバリー・ヒルズウィルシャーホテル
6	昼下がりの情事／リッツホテル
7	ロスト・イン・トランスレーション ／パークハイアット東京
8	ノッティングヒルの恋人／リッツホテル
9	アマルフィ 女神の報酬／サンタ・カリーナ
10	ホームアローン2／プラザ・ホテル

男女別のランキングを見ると、第1位は男女ともに『THE 有頂天ホテル』ですが、男性は『007 は二度死ぬ』や『オーシャンズ 11』など比較的アクション映画が多く、女性は『プリティ・ウーマン』や『花より男子ファイナル』、『ノッティングヒルの恋人』などラブストーリーやラブコメディ映画が多いことが分かりました。

【表 2 および 3】泊まってみたい映画の中のホテル
 <<表 2:男性編>> <<表 3:女性編>>

順位	映画	順位	映画
1	THE 有頂天ホテル	1	THE 有頂天ホテル
2	007 は二度死ぬ	2	プリティ・ウーマン
3	オーシャンズ 11	3	花より男子ファイナル
4	花より男子ファイナル	4	オーシャンズ 11
5	ホームアローン2	5	ノッティングヒルの恋人

特に女性のランキングで第2位となった『プリティ・ウーマン』は、20代から60代まですべての年代から票を獲得しており、世代を超えた名作であるとともに、登場しているホテルが女性にとって最も憧れのホテルであることが分かりました。

■Hotels.com について

Hotels.com は、世界各国の言語や文化に合わせてローカライズした予約サービスを運営する、世界最大手のグローバルな宿泊予約サービスです。日本においては、日本人旅行者向けにローカライズした Hotels.com の日本版サイト、または日本語によるカスタマーサービスセンターを通じて、日本円での決済でホテルを予約することができます。

また、ネット上で最も多くの宿泊施設を提供しているサイトの1つでもあり、独立系および大手ホテルチェーンからコンドミニアムまで、世界の130,000軒を超える施設が予約できます。ホテルの料金、設備、空き状況をワンストップで確認および購入できることに加え、ホテル繁忙期においても、高確率で宿泊を確保できるサービスを提供しています。

Hotels.com は、Expedia, Inc. (NASDAQ : EXPE) の子会社です。

<http://www.hotels.com/>

■Hotels.co.jp について

Hotels.com の日本版サイト(<http://jp.hotels.com>)は、日本人旅行者のさまざまなニーズに応えるため2008年11月に開設されました。このサイトによって、日本人旅行者が気軽に世界中の130,000軒を超えるホテルを検索し、日本円での決済で予約することができます。また最新のホテル情報や割引特典などニュースレターにて最新情報を提供しています。また、日本語によるカスタマーサービスも設置しており、日本時間午前7時から深夜1時まで年中無休で利用いただけます。電話番号はフリーダイヤル(0120-998-705)です。

プレスルーム:<http://asiapress.hotels.com/jp/>

■本件に関する報道関係の方からのお問合せ先:

- ・ホテルズドットコム広報事務局(共同PR内) 村田春雄、吉永沙耶香、井口了太
 Email: hotelsteampr@kyodo-pr.co.jp、TEL: 03-3571-5326、FAX: 03-3574-0316
- ・Zoe Chan、ホテルズドットコム アジア・パシフィック PR マネージャー
 Email: zchan@expedia.com、TEL: +852 3607 5719